

事項	トルコギキョウにおけるインパチエンスネクロティックスポットウイルス (INSV) の発生																	
ねらい	インパチエンスネクロティックスポットウイルス (INSV) がトルコギキョウに発生しているのが本県で初めて確認されたので、その特徴と対策を示し防除対策上の参考に供する。																	
指導参考内容	<p>1 発生状況</p> <p>津軽地域の1棟のトルコギキョウ栽培ハウスでインパチエンスネクロティックスポットウイルス (INSV) の発生を認めた。発生した品種は「プラチナキング」で、開花期の8月下旬に発見された。農家が一部抜き取り処分を行った後であったが、9月4日の調査で発生率は約6,000株中60株 (1%) であった。伝染経路については不明である。</p> <p>2 病徴</p> <p>直径数mm程度の褐色、円形状のえそ斑点又はえそ輪紋が中～上位葉に発生し、時に大型輪紋を生ずる。また、葉柄や茎にえそ条斑症状が見られることもある。</p> <p>3 INSVの特徴</p> <p>INSVはアザミウマ類で伝染するとされ、寄主範囲が広い、特徴的な輪紋症状を呈する機会が多いなど等TSWVと類似点が多い。一方、TSWV (トマト黄化えそウイルス) の抗血清との反応は弱い、病徴発現が遅いなどの違いも報告されている。本ウイルスの発生生態についてはまだ不明の点が多いが、花きを中心に広く発生が報告されているため、今後十分な注意が必要である。</p> <p>4 INSVの全国における発生状況</p> <table border="0"> <tr> <td>静岡県</td> <td>バーベナ</td> <td>平成11年</td> </tr> <tr> <td>岡山県</td> <td>シネラリア、ベゴニア、アフリカハウセンカ、トマト</td> <td>平成12年</td> </tr> <tr> <td>秋田県</td> <td>トルコギキョウ、インパチエンス、ニューギニアインパチエンス、シクラメン</td> <td>平成12年</td> </tr> <tr> <td>栃木県</td> <td>シクラメン、エキザカム</td> <td>平成13年</td> </tr> <tr> <td>山梨県</td> <td>シクラメン</td> <td>平成14年</td> </tr> </table> <p>5 防除対策</p> <p>TSWVに準じる。</p> <p>(1) 県外からの購入苗などでの持ち込みに注意</p> <p>(2) 疑わしい症状の確実な診断の実施</p> <p>(3) 被害株の徹底した除去及び処分</p> <p>(4) アザミウマの侵入防止のため、施設開口部に防虫ネット (1mm目以下) の設置や、薬剤防除の徹底</p> <p>(5) 施設周辺の雑草、収穫しない花き等のアザミウマ類の飛来源、増殖源の除去</p>			静岡県	バーベナ	平成11年	岡山県	シネラリア、ベゴニア、アフリカハウセンカ、トマト	平成12年	秋田県	トルコギキョウ、インパチエンス、ニューギニアインパチエンス、シクラメン	平成12年	栃木県	シクラメン、エキザカム	平成13年	山梨県	シクラメン	平成14年
静岡県	バーベナ	平成11年																
岡山県	シネラリア、ベゴニア、アフリカハウセンカ、トマト	平成12年																
秋田県	トルコギキョウ、インパチエンス、ニューギニアインパチエンス、シクラメン	平成12年																
栃木県	シクラメン、エキザカム	平成13年																
山梨県	シクラメン	平成14年																
期待される効果	INSVによる病徴を明らかにすることにより、早期発見が可能になり被害拡大を防止することができる。																	
利用上の注意事項	類似の症状でTSWVの簡易診断キットで陰性であった場合は、本ウイルスの可能性があるので関係機関に診断を依頼する。																	
担当	フラワーセンター21あおもり 生産技術部 青森県グリーンバイオセンター 微生物工学研究部	対象地域	県下全域															
発表文献等	平成14年度 フラワーセンター21あおもり試験成績概要集																	

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 DIBA法による異なる病徴部位からの
INSV検出状況
(平成14年 フラワーセあおもり)

サンプル	葉位	病徴	INSV検出
No. 1	上位葉	えそ斑点	+
2		えそ斑点	+
3		えそ斑点	+
4		えそ斑点	+
5	中位葉	えそ条斑	+
6		えそ条斑	+
7		えそ斑点	+
8	下位葉	えそ条斑	+
9	健全葉		-

(注) + : 陽性 - : 陰性

表 2 トルコギキョウから分離したINSVの寄主範囲
(平成14年 青森グリーンバイオ)

検定植物	接種葉 / 上位葉
<i>Chenopodium quinoa</i>	NLL / -
ツルナ	- / -
<i>Nicotiana benthamiana</i>	NRS / M, VN
<i>N. tabacum</i> cv. Bright Yellow	NRS / -
<i>N. occidentalis</i> 37B	NRS / -
<i>N. meglisiphon</i>	NRS, NLL / -
ササゲ	- / -

(注) NLL: 局部えそ斑点 NRS: えそ輪紋 - : 感染しない
M: モザイク VN: 葉脈えそ条斑



写真1 上位葉のえそ斑点



写真2 大型えそ輪紋



写真3 側枝のえそ斑点



写真4 葉脈のえそ条斑

(注) 写真はいずれも本県で確認された病徴